

ミニシタ
あぜみち通信

* * * * *

平成20年9月1日

93号

編集・発行：愛知県農業会議

◎ 平成20年度第1回総会を開催（新体制が決まりました）

愛知県農業会議は、8月22日名古屋市中区の水産会館において、平成20年度第1回の総会を開催しました。

総会には、神田真秋愛知県知事、栗田宏愛知県議会議員、釘田博文東海農政局次長、倉内巖愛知県農協中央会長を始め、県及び関係団体から多数の来賓のご参加を頂きました。

総会では、平成19年度の事業報告及び歳入歳出決算が承認された後、正副会長及び監査委員の選任が上程され、「指名推選」の方法に依ることが決定されて各支部長等11名の選考委員が指名され、総会休憩の間に行われた選考結果を、選考委員長寺島正名古屋支部長から発表されました。

その結果、会長には佐宗靖広氏（留任：全国和牛登録協会愛知県支部長）、副会長には平野重良氏（再任：愛知県農協中央会副会長）及び榊原伊三氏（新任：愛知県市長会長・半田市長）が選任され、監査委員には坂部哲雄氏（新任：蒲郡市農業委員会会長）及び川上万一郎氏（新任：愛知県畜産協会理事長）が選任されました。

次いで、「『新・農地と担い手を守り活かす運動』の推進に関する申し合わせ決議」について林秋雄西三河支部長から、「『情報活動』の強化に関する申し合わせ決議」について牧野好伸東三河支部長から提案があり、満場一致で決議しました。

また、総会休憩中に6号会議員の常任会議員互選が行われて全ての常任会議員が決定しました。平成20年8月から3ヶ年間の会議員及び常任会議員さんは、末尾に掲載してあります。

公 告

平成20年8月22日に開催した平成20年度第1回総会において、下記のとおり当選者が決定したので、愛知県農業会議会則第26条の規定に基づき公告する。

平成20年8月26日

愛知県農業会議
会長 佐宗 靖広

記

会 長	佐宗 靖広	新城市作手保永字布路31番地
副 会 長	平野 重良	常滑市明和町3-39
副 会 長	榊原 伊三	半田市成岩本町四丁目45番地
監査委員	坂部 哲雄	蒲郡市金平町荒木20番地4
監査委員	川上万一郎	西尾市野々宮町宮東18番地

◎ 各支部の支部長・副支部長が決まりました

7月29日から8月6日にかけて各支部毎に市町村農業委員長・事務局長合同会議を開き、平成20年から23年7月までの各支部の支部長・副支部長の互選をして頂きました。

支部名	支部長 氏名	副支部長 氏名
名古屋 尾張	寺島 正 熊澤 宣明 (一宮市)	—— 井村與曾之 (春日井市)、丹羽 司朗 (岩倉市) 水野元紀知 (東郷町)
海部 知多	服部 金藏 (弥富市) 神谷 憲敏 (知多市)	日比野郁郎 (津島市)、伊藤 惣一 (大治町) 中川 奉三 (南知多町)
西三河	林 秋雄 (知立市)	富永 博 (西尾市)
豊田加茂	光輪 龍雄 (豊田市)	——
新城設楽	野澤 安雄 (新城市)	——
東三河	牧野 好伸 (豊橋市)	鈴木 和義 (田原市)

◎ 地域活動推進支援研修会を開催

8月22日の総会終了後、愛知県担い手育成総合支援協議会との共催で、地域活動推進支援研修会を開催し、「農政の潮流と地域活性化について」と題して、財団法人日本農業研究所の岸康彦理事・研究員から講演を頂きました。

世界の人口67億人の中で13億人を擁する「中国」と11億人の「インド」の台頭、威信の低下しつつある「アメリカ」、その中で「存在感」の低下している「日本」。そうした状況が、今回のWTO交渉決裂の下地であること。消費者が、「国産」或いは「価格」を選択できなくなるおそれ、日本が食料を「買い負ける」状態に追い込まれ海外に生産基地を求める商社や農協などと提携して野菜の生産に着手するスーパーマーケットが出ていること。さらに、米の生産調整の限界と、行方定まらない「農政改革三対策」ではあるが、流れは「価格支持」から「直接所得補償」に傾きつつあること。カネでは買えない「風土」= FOOD の大切さ等を説かれました。

最後に、地産地消運動を後押しする「緑提灯」の動きについても紹介され、地域から積み上げる自給率向上が、農業再生の手がかりと結ばれました。

「緑提灯」とは

日本の農林水産物を愛でる顧客のため、カロリーベースで日本産食材の使用量が50%を超える飲食店で緑提灯を飾っています。60%を超えると二つ星、90%を超えると五つ星になります。2005年、北海道小樽から始まり、現在では千店舗以上が加盟しています。

関係の情報は http://midori-chouchin.jp/introduction_list.html でご覧になれます。

◎ 支部長会議を開催

愛知県農業会議の支部長会を8月12日、白壁庁舎において開催しました。

8月22日に開催する第1回総会への提出議案について審議頂くとともに、総会当日の申し合わせ決議についても討議し、「『新・農地と担い手を守り活かす運動』の推進」及び「『情報活動』の強化」について決議することを決定しました。

また、総会当日の役割分担等についても協議しました。

◎ 賛助団体会議を開催

8月12日白壁庁舎において、賛助団体会議を開催しました。

第1回総会の開催計画及び議案（平成19年度事業報告・決算、正副会長・監査委員の選任）について説明するとともに、4号会議員での常任会議員互選結果及び5号会議員の互選会の開催計画、総会後の地域活動推進支援研修会の計画を説明し、総会等への出席及び協力を要請しました。

◎ 常任会議員会議を開催

新メンバーになって初めての常任会議員会議を、8月28日白壁庁舎において開催しました。

局地的な豪雨のため豊橋駅で足止めとなった会議員もおられました。24名の会議員が出席され、審議開始前に、事務局及び農業振興課から常任会議員会議の概要及び農地転用許可基準の概要について説明をした後、諮問事項の審議を行いました。

農地法第4条に基づく転用事案32件10,272平方メートル、及び第5条に基づく転用事案288件202,770平方メートル、並びに農業振興地域の整備に関する法律第15条の2第6項に係る開発行為1件6,264平方メートルについて、何れも原案通りで了とすることが議決されました。

会議終了後は、あぜみち通信及び全国農業新聞の内容などについて説明するとともに、9月1日から各支部毎に開催する「農業委員・職員等研修会」の開催計画を説明し、参加を要請しました。

また、会議終了後は、全国農業新聞の普及拡大に係る支部長・副支部長会議を開催し、「あいちのページ」発行を維持するため、購読部数3,500部確保に向けた取り組み強化を確認しました。

◎ 農業者年金業務担当者研修会を開催します

9月25・26日豊橋市のホテル日航豊橋において、農業委員会及びJAの業務担当者を対象に農業者年金担当者研修会を開催します。

現在お問い合わせが多い、旧制度の支給制除外関係様式の記入方法について、独立行政法人農業者年金基金から講師を招き説明していただきます。

また平成19年度から21年度までの3年間で510名の新規加入者確保達成を目指して、本年度は200名の新規加入者確保を目指していますが、新制度の評価についてファイナンシャルプランナーの遠藤吉夫先生から、新制度のメリットについて専門家の立場から解説していただくことになっております。

多数の方のご出席をお待ちしております。

◎ 農地事務担当者研修会が開催されます

県農林水産部農業振興課主催の農地事務担当者研修会が、10月2・3日の両日にわたって開催されます。

6月2・3日の両日にわたって、農業振興地域制度、農地転用の概要、農地転用許可基準及び都市計画法の開発許可制度等について、研修会が開催されましたが、今回は、不動産登記法、農地法にかかる法律制度・法律用語等の解説、行政手続法の概要、農地転用の事例等について、名古屋法務局不動産登記部門や県農業振興課の担当者及び弁護士から講義があります。

会場は、愛知県自治センター12階E会議室です。

参加希望者は、地元の県農林水産事務所農政課へお申し出下さい。

◎ 豊橋市農業委員会が建議

豊橋市農業委員会（牧野好伸会長）は8月22日、食料主権の確立、安定的農家経営の継続のための諸制度の確立、農地制度及び農業委員会制度の堅持、登録農薬の確保など8項目について、関係機関に協力に要請されたい旨を内容とする「平成21年度農業施策に関する要望書」を、佐宗靖広会長に提出されました。

佐宗会長は、「真摯に受け止め、関係各方面にしっかり要請します。」と応えられました。

◎ 女性農業委員が73名に増えました

7月6日に実施された第20回農業委員統一選挙などの結果、県内農業委員会の女性委員が、これまでの30委員会56名から37委員会73名になりました。

また、選挙による委員も6名から10名になりました。

昨年の春以来、女性農業委員拡大に向けて取り組まれた、関係各位のご尽力に敬意を表します。

◎ 花の寄せ植え体験&バーベキュー交流会を開催します

愛知県農家花嫁花婿対策連絡協議会では農業青年の結婚支援の一環として、会員が主催する男女ふれあい交流会の開催を支援しております。

主催：知多4Hクラブ連絡協議会

日時：10月12日（日）11時～16時

場所：佐布里緑と花のふれあい公園・梅の館（知多市佐布里台3-101）

内容：花の寄せ植え体験、地元産農畜産物のバーベキュー

知多地域農業青年との交流

参加者募集：18歳以上の独身女性20人（先着順）

申込み・問い合わせ先：知多農林水産事務所農業改良普及課（担当：久野）

農業に関心のある独身女性の参加をお待ちしております。

◎愛花協だより（知事お祝いメッセージ、会長色紙贈呈）

安城市 都 築 寛 成 さん ・ 佳奈子 さん （8月 2日挙式）
大府市 近 藤 吉 男 さん ・ 絵 理 さん （8月29日挙式）
ご結婚おめでとうございます。一層のご活躍とご多幸を祈ります。

◎ 今後の主な行事予定

- 9月 1日 農業委員会委員・職員等研修会 （豊川市）
- 9月 3日 農業委員会委員・職員等研修会 （半田市）
- 9月 4日 全国農業会議所 事業検討委員会・作業部会 （東京都）
- 9月 5日 都道府県農業会議事務局長会議 （東京都）
- 9月 5日 愛知県経営構造対策推進協議会都市農村交流会 （田原市）
- 9月9・10日 農業者年金加入推進部長・女性農業委員特別研修 （浜松市）
- 9月10日 都道府県農業会議会長会議 （東京都）
- 9月11日 都道府県担い手育成総合支援協議会担当者会議 （東京都）
- 9月12日 農業委員会委員・職員等研修会 （安城市）
- 9月17日 農業委員会委員・職員等研修会 （稲沢市）
- 9月18日 常任会議員会議 （白壁庁舎）
- 9月18日 全国農業会議所臨時総会 （東京都）
- 9月19日 愛知県農家花嫁花婿対策連絡協議会幹事会 （白壁庁舎）
- 9月25・26日 農業者年金担当者研修会 （豊橋市）
- 9月30日 農業体験農園普及シンポジウム （大阪市）
- 10月 1日 農業委員会委員・職員等研修会 （弥富市）
- 10月 2日 愛知県担い手育成総合支援協議会スペシャリスト会議（白壁庁舎）
- 10月2・3日 農地事務担当者研修会 （自治センター）

あとがき

第20回の農業委員統一選挙が行われ、大半の農業委員会で委員の顔ぶれが一新しました。女性農業委員も17名増えて73名となりました。また、常任会議員も17名が交替されて4月以降の就任者も含めると3分の2が新しい会議員となりました。

言うまでもなく農業会議に与えられた使命は、農地法等に係る県知事諮問への答申の他、農業及び農民に関する意見の公表、行政庁への建議・諮問への答申、農業及び農民に関する情報提供、調査・研究、農業委員等の講習・研修、そして農業委員会への助言その他の協力。

また、農業委員会の役割・使命は、農地法に基づく農地の権利移動の許可、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の決定等の専属的業務に加え、農地等の農業上の利用の確保、農地等の利用の集積・効率的な利用の促進、調査及び研究、情報提供等、そして意見の公表、行政庁への建議・諮問に応ずる答申。

耕作放棄地の増加や担い手の不足などが顕在化する中、農地制度の改革に向けた論議が本格化し、農業委員会系統組織に寄せられる期待と「眼」はますます強くなっています。

新しい農業委員さん、会議員さんとともに、これまで以上に与えられた使命を果たすため、心を新たに取組んで参りたいと思います。

「新・農地と担い手を守り活かす運動」の推進に関する申し合わせ決議

われわれ農業委員会系統組織は、「かけがえのない農地と担い手を守り、力強い農業をつくるかけ橋」との組織理念のもとに、優良農地の確保と有効利用、担い手の確保・育成に取り組んできたが、昨年公表された「農地政策の展開方向」でも示されているように、耕作放棄地の解消を含めた優良農地の確保と面的集積を図ることは、喫緊の課題となっている。

こうした課題に対処するため農業委員会系統組織では、平成22年度末を目途とする「第3次・農委組織活動改革プログラム」を策定し、この実践活動として「新・農地と担い手を守り活かす運動」を推進することとしている。

本年7月に実施された第20回農業委員会の統一選挙よって大半の農業委員会において新しい農業委員会委員の任期が始まるこの時機、農業委員会組織一丸となって「新・農地と担い手を守り活かす運動」を強力に展開することを決議する。

記

- 1 「新・農地と担い手を守り活かす運動」の推進に当っては、以下の3つの基本活動の展開を徹底する。
 - (1) 農地パトロールによる地域の農地利用の総点検と、農地基本台帳の整備を推進すること。
 - (2) 農用地利用現況図の作成とその活用により、担い手への農地の利用集積等を推進すること。
 - (3) 認定農業者等担い手の意見を積み上げ、地域に応じた担い手の確保と経営改善への支援の取り組みを強化すること。
- 2 運動の展開を実効あらしめるため、地域の実情や農業委員会等の置かれた環境等踏まえ、活動計画作りと点検・評価を徹底する。
- 3 農業委員会の活動展開に役立てるため、日頃の活動を具体的に記録する農業委員会委員活動記録ノート（カード）の普及定着を推進する。

平成20年8月22日
愛知県農業会議総会

「情報活動」の強化に関する申し合わせ決議 ＝「全国農業新聞で結ぶ信頼の絆・3カ年運動」＝

農業・農村をとりまく課題及びこれらへの対応事例等に関する情報を農業者へ迅速に正確に分かりやすく伝えるとともに、現場の「声」を集約し広く発信する「情報提供」活動は、従来にも増して農業委員会系統組織にとっても重要な取り組みとなっている。

また、市町村合併等により担当地域が広域化する中で農業委員会及び委員と地域・農業者とのつながりの希薄化が懸念されており、両者の信頼の「絆」をより強固なものにするとともに意思統一を図るための手段として「情報提供」活動の積極的な展開が求められている。

こうした状況に対処するため、以下の3点の取り組みを強力に進めることを申し合わせ、決議する。

記

- 1 「全国農業新聞」県内購読部数3,500部の確保のため、農業委員1人当たり2部以上の新規購読申込みを確保すること。
- 2 農業委員の地域における活動の強化や活力ある農業・地域づくりに向けた取り組みを強固なものとするため、「全国農業図書」を活用すること。
- 3 「農業委員会だより」の発行や市町村広報誌・ホームページの活用など通じ農業者や地域住民・消費者に対して、農業委員会活動に係る情報提供を強化すること。

平成20年8月22日
愛知県農業会議総会

愛知県農業会議会議員名簿

1 号会議員 (法第41条第2項第1号の規定による会議員、常任15)

平成20年8月22日現在 (第20回・平成20年7月改選)

氏名	所属農業委員会
寺島 正	名古屋市
熊澤 宣明	一宮市
朝井 徹也	瀬戸市
井村與曾之	春日井市
森川 茂樹	犬山市
河合 正猛	江南市
鈴木 明	小牧市
近藤 巖	稲沢市
若杉 恵	尾張旭市
丹羽 司朗	岩倉市
加藤 保行	豊明市
牧 正行	日進市
浅井 尊弘	清須市
半谷 暹	北名古屋市
水野元紀知	東郷町
吉田 濱一	長久手町
安藤 丁士	豊山町
加藤 頌茲	春日町
渡邊 和則	大口町
大藪 敏英	扶桑町
日比野郁郎	津島市
日永 熙	愛西市
服部 金藏	弥富市
角田 嘉宏	七宝町
原 正雄	美和町
小関 通	甚目寺町
伊藤 惣一	大治町
吉田 雅巳	蟹江町
平野 和実	飛島村

(ゴシック体は常任会議員)

氏名	所属農業委員会
山本 善博	半田市
山下 史郎	常滑市
久野正二三	東海市
深谷 元吾	大府市
神谷 憲敏	知多市
杉浦 幹夫	阿久比町
原田 茂俊	東浦町
中川 奉三	南知多町
谷川 喜信	美浜町
河合 進	武豊町
小久井正秋	岡崎市
禰宜田育男	碧南市
加藤 保広	刈谷市
木村 重治	安城市
富永 博	西尾市
林 秋雄	知立市
神谷 健治	高浜市
原田 幸秀	一色町
鈴木 誠	吉良町
伊藤 勝	幡豆町
稲吉 光治	幸田町
光輪 龍雄	豊田市
鈴木 昭弘	三好町
野澤 安雄	新城市
後藤 敬	設楽町
伊藤 正美	東栄町
田邊 眞市	豊根村
牧野 好伸	豊橋市
楯 勅治	豊川市
坂部 哲雄	蒲郡市
鈴木 和義	田原市
中村 一彦	小坂井町

2号会議員 (法第41条第2項2号の規定による会議員・定数1、常任1)

氏名	選出団体	備考
倉内 巖	愛知県農業協同組合中央会	会長

3号会議員 (法第41条第2項第3号の規定による会議員・定数1、常任1)

氏名	選出団体	備考
水野 格廉	愛知県農業共済組合連合会	常務理事

4号会議員 (法第41条第2項第4号の規定による会議員・定数5、常任4)

氏名	選出団体	備考
平野 重良	愛知県信用農業協同組合連合会	愛知県農協中央会副会長、信連経営管理委員長 経済連・厚生連経営管理委員
奥田 克也	愛知県経済農業協同組合連合会	中央会理事、信連・経済連・厚生連経営管理委員
二村 利久	愛知県厚生農業協同組合連合会	中央会理事、信連・経済連・厚生連経営管理委員
伊藤 敏之	愛知県酪農農業協同組合	代表理事組合長
浅井喜代治	愛知県畜産養鶏農業協同組合連合会	代表理事会長

5号会議員 (法第41条第2項第5号の規定による会議員・定数10、常任3)

氏名	選出団体	備考
神谷 金衛	愛知県土地改良事業団体連合会	会長
川上 万一郎	愛知県畜産協会	理事長
佐宗 靖広	全国和牛登録協会愛知県支部	支部長
前田 卓巳	愛知県茶業連合会	会長
白井 良始	愛知県果樹振興会	会長
大河 茂明	中部たばこ耕作組合愛知県支所	支所長
平野 和実	愛知県花き温室園芸組合連合会	副会長
木村 守雄	愛知県漬物協会	副会長
塩田 悠賀里	愛知県農業信用基金協会	常務理事
加藤 勝也	愛知県農林公社	理事長

6号会議員 (法第41条第2項第6号の規定による会議員・定数15、常任6)

氏名	関連機関・団体	備考
栗田 宏	愛知県議会	議長
鈴木 愿	愛知県議会	副議長
榊原 伊三	愛知県市長会	会長(瀬戸市長)
近藤 徳光	愛知県町村会	会長(幸田町長)
野村 勇	全国共済農業協同組合連合会愛知県本部	本部長
石川 政子	学識経験者(愛知県農村生活アドバイザー)	安城市農業委員
村井 智子	学識経験者(元県農業大学校長)	フードコミュニティサロン村井主幹
福井 直子	学識経験者(市認定農業者会副会長)	豊橋市農業委員

(ゴシック体は常任会議員)